

とうほく文化情報コーナー

歴史の残り香が漂う港湾都市を訪ねて ～通商と文化交流で発展した新潟港の足跡と未来～

▶12/19日

その歴史は平安時代にさかのぼり、江戸期には北前船の寄港地となった新潟港。信濃川河口には、たくさんの商工人たちで賑わう街並みが栄えました。明治維新後、開港すると西洋文化が流入。その名残は、擬洋風建築などに見ることができます。この展示では、この地域に寄りそう人々の営みや優雅なもてなしの文化、経済や工業の発展に重要な役割を果たした近代化の歩み、そして、新たな魅力発信に挑む水の都の今に迫ります。



新潟市歴史博物館
みなとびあ

展示協力 新潟市歴史博物館みなとびあ、新潟市 都市政策部 港湾空港課
新潟市 観光・国際交流部 観光政策課

おしゃべりウィンドウN

人間と動物との共生を考える ～地域社会の身近な動物たち～

▶12/26日

私たちの周りにはペットとして、あるいはワーキングアニマルとして、多くの動物たちが暮らしています。人々に愛される動物ですが、かわいらしさだけでなく、地域の中では問題も抱えています。動物たちが生きやすい社会は、人間も暮らしやすい社会です。動物に関する様々な団体の活動報告を行いながら、人間と動物の共生の在り方も考えるきっかけにします。



※写真はイメージです。

展示協力 公益財団法人日本盲導犬協会スマイルワン仙台、
特定非営利活動法人エーキューブ、NPO こはる、とんねこ、山形鉄道株式会社、
NPO 法人えぎ・まちネットこまつ、芦ノ牧温泉駅を守る会、降矢 朋子氏(順不同)

おしゃべりウィンドウS

東北の手仕事のぬくもりを暮らしの中に。 (前半) 宮城の手仕事再発見 (後半) 食卓彩る碗皿たち

▶12/26日

東北・新潟には、その土地で地域のために頑張っている誇れる手仕事があります。その類いまれな技術で、美しい作品を伝えている職人がいます。今回は、暮らしの道具として身近に溶け込み、生活に彩を与えている「手仕事」で作られた品々をご紹介します。前半は、宮城の手仕事により生まれた作品を作家さんのこだわりと共にご紹介。後半は、食卓を彩る碗皿の数々を展示。この機会にワクワクする東北・新潟の手仕事の数々を見に来てください。



※写真はイメージです。

展示協力 藤崎大町館 4 階「伊達 CRAFT」・大町館 2 階食器売り場

とうほく文化情報コーナー、おしゃべりウィンドウN・S についてのお知らせ

●11/21(日)・28(日)・12/5(日)・17(金)・26(日)は16時から18時(閉館)まで、アクアホールの展示撤去作業のためご覧いただけませんので、あらかじめご了承ください。